

東 ^{つかさ} 司 小学6年



建築士になって、お母さんに家を建ててあげたいです。

坂井 ^{まなか} 茉奈香 小学6年



ママをやしなってあげたい。

高間 ^{ともや} 智也 小学4年



おいしいカレーをつくってあげたい。旅行に連れて行ってあげたい。

小林 ^{りおな} 莉緒那 小学3年



毎日ごはんを作って食べさせてあげたい。

太田 ^{かれん} 華蓮 中学3年



東京や大阪など、北海道以外のところへ旅行に連れて行きたい。

前小屋 ^{しゅん} 瞬 中学3年



大きくなっても日々の手伝いをしたいと思う。

落合 ^{ゆず、れもん} 中学1年



自分たちのおごりで、USJに連れて行きたい。

中村 ^{ゆずは} 柚葉 小学6年



週に一度、ママとご飯を食べに行き、楽しい時間を過ごしたいです。

勝木 ^{ひな} 陽菜 高校3年



自分のお給料を貯めて、一緒に海外旅行に行きたいです。

砂沢 ^{かいと} 海飛 高校3年



母が何年も前から行きたいと言っている京都に連れて行ってあげたい。

渡辺 ^{ともか} ともか 高校3年



歴史好きな母に世界遺産を見に連れて行ってあげたいです。

平戸 ^{せお} 成央 高校1年



ずっと仕事で忙しいお母さんを、自分で稼いで道外旅行に連れて行きたい。

あなただはずっと手を振って笑ってくれた
帰り道迷わないように
もし前を向けなくなった時も
振り返ればいつも見えるように
愛されている事に
ちゃんと気付いている事
いつか歌にしよう
ちゃんと返したい事
いつか歌にしよう

膝すりむいて帰った日は
なぜか僕より痛そうで
そんな記憶が形を変え今も
離れていても守られているんだ
思い出が街を出て
思い知った挙句 途方に暮れて
追い越していく人を恨んでみたりして
誇れるように そしてその時は
誇らしく思ってもらえるように

あなただはずっと手を振って笑ってくれた
帰り道迷わないように
もし前を向けなくなった時も
振り返ればいつも見えるように
愛されている事に
ちゃんと気付いている事
いつか歌にしよう

嬉しい事があった時に
誰かに言いたくなるのは
自分よりも喜んでくれる人に
育ててもらったからなんだろうな
身体がだるくなった時は
確か生姜とハチミツで
口うるさくて嫌でも思い出すよ
離れていても守られているんだ

手紙

back number
作詞作曲 清水依与吏